

ビッグターゲット豊富な北海道で  
可能な限り釣りを楽しみたい。

僕が住む北海道は、広大で四季折々の表情を見せる土地。春夏秋冬と季節の変化で追い求める魚種が変わっていきます。トラウトを追うアングラーは支流、本流、そして湖とフィールドを変えてビッグトラウトを追い求め、ソルトアングラーは冬の時期からオーシャントラウトや、ヒラメ、根魚を追う。最近では夏に青物を釣るアングラーも増えてきています。

「離れ島の北海道」は本当に広い。僕が住んでいる札幌からは、どんなに近くても車で30分以上走らなければ釣りできません。その為各地方へと遠征することになるのですが、中でも僕が一番通っているフィールドが海アメマスの聖地と言われている島牧村近郊。日本海側の積丹半島から松前半島の中間くらいに位置するこのフィールドへは、一年の約半分の季節通っています。もちろん地元のアングラーや行けばよく顔を合わせる馴染みのアングラーと話をさせてもらうことも多く、近くのショップの店長さんやお食事処のマスターとも情報交換するようになり、彼らの店には行けば必ず顔を出すようになりました。

僕にとっての「釣りがある人生」についてお話してみます。まだまだ短い経験ですが、なぜここまで通う事になったのか…。僕が釣りを始めたきっかけは会社の上司からの誘いでした。釣りは学生時代は海の見える町に住んでいたので少しは経験がありましたが、道具を持っていなかったので急遽近くの釣員屋に行き、安い道具を買って同行しました。もちろん餌釣りで、そんなに遠くに投げられるわけではなく、届く範囲での釣りでしたが、そこでアイナメを釣る楽しさを覚えました。北海道での投げ釣りはカレイ類がメインターゲットで「なんでそんなデカイの釣れるんだ？」と興味を持ち、どんどん釣りにのめりこんでいき、その後色々雑誌等を見るようになって、ルアーフィッシングに興味



を持つようになりました。

ルアーで最初に始めたのが根魚狙いのワームフィッシングでした。最初は釣れなくて苦労したことを覚えています。シヨップへ何度も足を運んで、どんなルアーで釣れるんだ、どんな所で、どんな時期が良いのかと色々聞きながら釣り場へと通いました。そして経験が積み重ねられていき、たくさん釣れるようになってくると、今度は周りが聞いてくれるようになってきました。そして友達や仲間がどんどん増えていき、逆に今まで一人でしていたことを仲間と共有し、試していくと、もっともっと釣れるようになってきました。

そんな仲間との会話の中で、また新たなターゲットを知るようになります。そう海アメマスとの出会いでした。タックルなども根魚とは違い、ロッドは7フィート前後から11フィート前後に、リールも500番くらいから4000番、そしてハイギヤの物へと変更。ルアーもソフトからハードルアーへ。準備だけでもお小遣いがドンドンなくなっていました。その分新しい世界を前にワクワクしていました。

友人と毎週のように冬の厳しいフィールドへ通いましたが、全くヒットさせることができません。行けばボーズの繰り返し。でも諦めずに通っているとピギナーズクラブってやつですかー島牧村で開催されたイベント、海アメマスの大会で入賞できるグッドサイズを釣ってしまったのです。しかも10年通ってもごく少数しか釣っていないような大きなサイズを。さらに翌年も好釣果。やり始めの何も知らない素人みたいな僕が、年々減少傾向にあるフィールド

ドで幸運にも2年連続となるモンスター海アメマスを釣ることができ、そして入賞という結果も得ることができました。

そうして様々な経験をしながら出会うのがimaでした。ものすごく光栄なお話を頂き、僕の釣り人生が大きく変わる事に。また右も左も分からないような僕に声を掛けて頂けるとは…本当にありがたい限りです。

北海道でもimaといえばssusuke120裂波です。海アメマス、海サクラマスに無くてはならないルアーです。北海道のアングラーの間でも、その能力はよく知られています。さらに状況に合わせて、メタルジグのガン吉を使用し釣果をあげています。また新しくハウンドシリーズの登場でサスケで探れなかったレンジ攻略が可能となり、さらに飛距離が伸びたことで、より広く探れるようになりました。パターン攻略の幅の広がりが、意外とレンジが深いオーシャントラウトの釣りの釣果アップに寄与しています。

防寒対策をしっかり準備し、サーフや磯へと足を向ける。中には霜焼けを通り越し、指が凍傷になってしまふアングラーもいるくらいです。それだけ寒い中夢中になれる。夢を、モンスターを追いかける釣りなんです。

僕は年間を通して釣りをしている訳ではありません。仕事あつての釣り。しかし可能ながぎり休日があればフィールドへ通いたいと思っています。たくさん魅力的な釣りのターゲットが棲む、広大な島。北海道で。

